



全日本私塾教育ネットワーク

# 私塾ネット広報

<http://www.shijuku.net>



櫨の木 空うめつくし すきまなし

私塾ネット 副理事長 梶原 賢治

第15号（平成18年7月号）

センター事務局 仲野 十和田  
〒173-0005 東京都板橋区仲宿53-10 ナカジユク内  
TEL 03-3963-5572 FAX 03-3963-2529  
Mail Address: jimukyoku@shijuku.net

理事長 谷村 志厚  
047-368-2729  
広報部長 監物 一男  
048-688-6903

## 平成18年4月23日の代表者会議において今期新役員決定

### 私塾ネット会長

### 山口恭弘



平成18年も年の半ばを越え、夏期講習の準備をする季節となりました。塾の経営では次のようなことが言えます。うまくいくのかどうかいろいろしている時は比較的平穩に乗り越えられ、たいした事はないだろうと高をくくっていた事で足をすくわれる

傾向があったように思います。慢心していたと言えればそれまでですが、現状にあぐらをかいてしまった時期が一番危険な時でした。

塾もようやく市民権を得たといわれます。3年ぐらい前から塾批判が新聞記事に載らなくなりました。学力低下にからんで逆に塾は期待されるようになりました。また、去年の京都の事件の時、お役所も塾を尊重するような動きにでました。昭和40年代、塾は教育の三悪（学歴・受験・塾）と言われ、教育に関する問題が起るごとに塾は悪者扱いにされました。必要悪とよく言われたものです。その頃に比べると今は格段に社会に認められていると言えるでしょう。

しかし、こうした時期にこそ塾の質の向上を図り、内部の充実にも努める必要があるような気がします。特に中小規模の塾は塾長に総てがかかっているという傾向があります。何年前か前にある大手のオーナーとお会いした時、大手の塾は残るけれど中小の塾は駄目になる、と言われました。その理由はと聞きましたら、大手には企画室があるけれど中小にはない、と応えられました。私にとってはいたい言葉でした。もちろん私の塾にも企画室などありません。どんな事をするにしろ、すべて自分の頭の中で考えなければいけないのです。それには限界があります。そんな限界を感じた時、私は塾団体を利用する事にしています。この団体に属している先生方はそれぞれ知識も経験も豊富な方ばかりです。かすみのかかっている私の頭では考えつかないようなアイデアを実践されている方はたくさんいます。研修会などで熱いのある塾の先生のお話を聞くことも出来ます。塾団体を皆様の企画室としてぜひ活用してみてください。

### 私塾ネットの活動を自塾の経営に生かそう 再任 私塾ネット理事長

### 谷村志厚



先の代表者会議において、もう一期待理事長職を務めるとの推薦をいただきましたので、引き続き代表役員を務めさせていただきます。よろしく申し上げます。

さて、学習塾を経営の面から現状をみると、当会に所属する多くの中小塾にとっては、ますます厳しい経営環境であると実感しています。ことに首都圏ではここ数年大手学習塾の台頭が目をはきまします。ある調査によると、都内の学習塾のうち一般個人塾は2割程度まで減少し、大手塾の分教室それも個別指導を看板に上げる教室が急増しているそうです。

そんななかにあって我々は会員相互に切磋琢磨しあい、自塾の力をつけていくことが急務です。四月の全国研修大会の木下先生のセミナーは大きな反響をよびました。その後東京と千葉では毎月木下セミナーが継続され、たくさんの私塾ネット会員が研修に参加しています。このように、会員の皆さんが会の活動を昇華させて自塾の経営と教育の充実に活用いただくことも、任意団体に参加することの意義であると思います。

### 再任 私塾ネット関東代表

### 鈴木正之



私塾ネットは会員の手作りの団体です。昨年度は加藤実先生（教務部）の年間9回の国語科研修、渡辺浩先生（総務部）企画のニューイヤーパーティが行われ、定例研修や恒例の桂馬辰尚先生（情報部）の私学情報交換会

と合わせ活動が活発になってきました。今年度は研修部長の大住明敬先生のご活躍に期待です。さて、私が私塾ネット関東代表となり2年が過ぎました。定例会を含め会員の方に直接足をお運びいただき、一人でも多くの方が行事に参加していただけるよう研修会や懇親会の充実は基より、塾の運営、教育に関しての情報交換や意見交換の場を作っていきます。まだ私塾ネットの行事に参加されていない方は、まず参加をお願いします。

また、今年は（社）全国学習塾協会の塾の日フェスティバルが私塾ネット四国の楠山先生中心となり行われます。関東としては全面的に応援、協力をしたいと考えております。

会員の皆さん賛助会員の皆さん、また2年間よろしくお願ひ致します。

### 再任 私塾ネット中部代表

### 松本 紀行



去る4月23日の全国研修大会におきまして、発表の機会を与您いただきまして誠にありがとうございました。また、大会を成功に導いた運営委員会の皆さんにも御礼を申し上げます。

大変厳しい塾業界の明日を切り拓く

為の有意義なものでした。木下先生のご講演は、これからの私塾のあり方としまして、「感動を生む場の創設」ということがとても大切であると実感いたしました。

さて、長野県におきまして、5月9日、県統一テスト会の定例会にて、一ヵ年の方針を決定いたしました。その際、会のホームページが問題となりました。ネット関係の重要性に一石が投じられました。6月21日、同会の作問審議会が開かれることになっております。

さて、3年前より、長野県の高校入試制度が改革されまして、前期後期制となりました。それに伴って入試問題も形式が刷新され、これに対応した形で作問しております。ここ20年、地獄の作問会とされてきましたが、最近は少し穏やかになりつつあります。

来る7月2日のネット会員で、定例の「湯けむりの会」を予定しております。幹事の原先生が、めったに取れない信州白骨温泉泡の湯を予約して下さいましたので、今年も期待しております。

#### 再任 私塾ネット四国代表

湯口兼司



私塾ネット四国では3月14日に開催した役員会にて決定した新体制で2006年からの2年間会の運営を進めていくこととなりました。また5月14日に開かれた総会において無事承認をいただきました。今回はそれぞれの役員を紹介したいと思います。まず事務局兼会計、山田塾、山田明子先生。山田先生は旧全塾連時代からの会員でご存知の方も多いためです。四国エリアの台所という存在で、彼女がいてくれるので私達はすき放題走れます。面倒見一番で通訳ボランティアも長くしておられます。次は書記の学習塾アカデミー、福富耕二先生。四国の研修会は全て福富先生の司会で始まります。讃岐人らしい穏やかな口調で皆さん和みます。次にネット管理の川口順次先生は四国エリア一番のパソコン通、四国は独自のメーリングリストを運営していますが、18塾中14塾がメールにてお互いの連絡をしています。また塾情報通信も発行していますが、全て川口先生が中心になって作ってくれます。続いて今期より研修部長になった啓真館、原田真一先生。昨年は新しく作られた啓真館研修場SEEDで研修会を開催いたしました。そのときも徹底した気配り、サービスの一環を見せていただきました。四国で一番の元氣塾を指揮しています。最後は広報、監査の楠山ゼミナール、楠山敬志先生。現在全国学習塾協会の常任理事で副会長として全国を飛び回っています。四国一の理論派で何でもよく知っているととも味のある人物です。10月8日に初めて四国で開催する『塾の日in徳島』の実行委員長でもあります。そしてそ

れ以外に四国エリアでは各県代表を設けています。愛媛は十亀幸雄、川原光明先生、香川は寺島謙次、山田明子先生、徳島は近藤誠介、松田俊治先生。以上の先生方に助けていただきながら二年間頑張ります。私塾ネット会員の皆さん、是非四国にも遊びに来てください。特に10月8日の『塾の日』は私塾ネット関東、四国、中国ジョイントの大会になる予定です。場所も鳴門の大渦が望める『リゾートホテル鳴門』と素晴らしい会場を確保することができました。皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。

再任 私塾ネット東北代表 畑山 篤



2006年度の活動について

私塾ネット東北は会員数名の大変小さな所帯です。しかも、全員青森県の会員でありながら会合を持つためには片道3時間の移動を伴います。さらに、全員が社団法人全国学習塾協会の会員

でもあり活動の線引きに苦労もあります。そして、昨年度は中3生対象の青森県全県テスト協会(県下約140塾参加)の立ち上げのための会合が毎月行われ、私塾ネット会員塾の先生方の時間も労力もかなり費やされた一年でした。東北地方はこの先も少子化・高齢化の波をまともに受けることは各種統計資料で明らかです。「私塾ネット」というチャンネルで東北エリアの学習塾の皆様には伝えられるメッセージをしっかりと伝えていく活動から取りかかりたいと思います。小さな所帯ですので、辻説法や井戸端会議のレベルかもしれませんが7月3日(月)八戸市、9月3日(日)仙台市、11月5日(日)仙台市、12月3日(日)八戸市、2月12日(月)仙台市で教務経営研修を行いたいと思います。可能な限り親睦交流などの席もセッティングしますので、全国の皆様のご指導とお力添えをお願い申し上げます。

#### 再任 私塾ネット北海道 代表

入江昌徳



昨年の夏、札幌を中心に大センセーションを巻き起こしたのが、秀英の北海道上陸と進学会とのゼロ円バトル。他の塾は規模を問わず、ただただ呆然とながめているだけであった。

さて、その結果として何が起こったかということ、札幌圏の秀英校舎18校(この夏、2校新規開校)で1800名強の生徒が在籍することとなった。札幌エリアでは、単純生徒数(および多教室展開の塾としての、教室平均頭数)で第2位の規模と

なったわけである。

新規に顧客を開拓したわけでは無いから、他塾へ行っていた生徒（及び行くであろう生徒）が2000人近く動いたことになる。これで影響の出ない既存塾がないわけではない。これが直接の原因による閉鎖などは耳にしていないが、みんな元気がないことは確か。業界としての空気が変わりつつある？ということが言えよう。これは打破しなければならないが、今のところ良い方法は思いつかない。

そしてこのゼロ円バトル、この夏は北海道第2の都市、旭川において早くも開始されている。

## 再任 私塾ネット中国代表

## 北川健治



皆様、悲喜こもごもの春の生徒募集も終わり、夏期講習会の準備のさなかにいらっしゃいますでしょうかいかががお過ごしでしょうか。謹んでお伺い申し上げます。先ごろ5月の定例会の報告をいたします。まず、4月の総会・研修会でいただきました平岡先生のセンターよりの功労賞を皆でお祝いいたしました。そして安・本・単（短）をキーワードに塾経営、塾運営の確認を行いました。学習塾に対する安全、安心面での考察、本気・本格派の授業の必要性、短期集中、単純明快な教授力の研修の3つの側面を情報交換をしながら行なったところです。次に今年度は10月全国学習塾協会の基幹行事である「塾の日記念式典」が四国徳島で行なわれ、私塾ネット四国の諸先生も中心となってお集まりになるでしょうから私も私塾ネット中国もご協力いたすべく「四国へ行こう」を合言葉にしていくことが決定されました。また、次回7月の定例会は恒例の年1回の福山開催です。今年度は清新の息吹充つる西本塾の新教室を訪問させていただくことになっています。私塾ネット中国は皆元気です。さあ、暑い夏がやってきます。全国の塾長先生、私塾ネット中国からエールを贈ります。「生徒諸君に負けることなく、われわれも青春しようぜ！」と。

## 再任 私塾ネットセンター事務局長 仲野 十和田



数年前から少子化が本格化すると言われの中、多くの大手塾は業績を上げているようです。以前は「地域密着型」「一人ひとりのケア」などが個人塾の売りでもありましたが、逆に大手の塾でもそれがあたり前のように行なわれているところもあります。また、

大手の優れたところに室長の面談力（入会面談トークなど）があると思います。教務力は勿論のことですが、自塾の良いところをきちんと相手に伝える能力（プレゼン力）を養い、自信を持って伝えられるだけの内容（特色）を作りだし認識することが大切なのではないでしょうか。

そして、生徒にとって居心地の良い場になれば、まだまだやっているとします。

## 第9回代表者会議ご報告

月日：平成18年4月23日（日）13：00～

場所：きゅりあん（品川区立総合区民会館）

参加者（敬称略）：北川、石川、長江、梶原、木村、碓、平林、佐藤、安藤、鈴木、渡辺、楠山、湯口、畑山、松本、関、谷村、山口、仲野  
委任状出席（5名）

進行 仲野十和田（事務局長）

議長の選出 慣例により谷村理事長を選出

審議内容

第1号議案 平成17年度センター事業報告  
事務局（仲野）より報告。資料の読み上げ。承認

第2号議案 平成17年度センター決算報告会計部長の石川維雪先生より報告。今年度、予算をオーバーした部分の詳細を説明。今期より複式簿記にしたため、過年度の処理のひずみが出て預金残高とどうしても合わなかったが（46,827円）、18年度以降はぴったり一致する。監事の木村正史先生より「厳正に監査した結果誤りなし」との報告。承認

第3号議案 平成18年度センター事業計画  
事務局（仲野）より報告。資料の読み上げ。承認

第4号議案 平成18年度センター予算案  
会計部長の石川維雪先生より報告。

第5号議案 役員改選の件

立候補、及び推薦を募るが候補なし。

平成17年11月14日（月）私塾ネット中国研修会翌日、第8回代表者会議にて谷村現理事長を引き続き理事長に推薦することを決定。事務局より内容報告を受け、満場一致で承認。

第6号議案 その他の議案

私塾ネット中国より、平岡文夫先生を塾業界での功績を称え、功労賞に推薦。研修大会において表彰することを満場一致にて承認。

当日は平岡先生欠席のため、佐藤将紀先生（広島若竹塾）より、功績のご披露と表彰状及び記念品を受け取っていただきました。

午前中の関東会員総会に引き続き、第9回代表者会議が行われました。役員改選の年でしたが、スムーズに第2期谷村理事長体制がスタートいたしました。山口先生を会長として、非常に良い形でこの2年間、会が運営されてきたと思います。今秋には社団の「塾の日記念日」が徳島で開催されますが、楠山先生を始めとしエリア四国の方々が活躍されます。私塾ネットしても大いに盛り上げていきましょう！



# 全国塾長・職員研修大会

『感即動 感動が人を動かす』

平成18年4月23日(日) 於品川区大井町駅前  
「きゅりあん」7F イベントホール  
参加者 160名  
研修会 午後2時～5時20分



(司会は田中宏道研修部長)

先ず主催者を代表して「大きな潮流を一塾では対応できなくても我々任意団体・社団・組合として皆様のご参加をお願いいたしながらがんばって参りたい。若い先生方の参加も目立ち勇気づけられる」と谷村志厚理事長より挨拶があり、続いて協力団体の東京私塾協同組合の岡田保雄理事長から「来年度から文科省が、学校での無料授業の開始など進められている。我々も塾人としての教えるプロとして、又塾の運営をするうえでも団結していかなければならない」とのご挨拶をいただきました。



プロローグ 午後2:10～2:30  
『私塾ネット 元気塾ノウハウ公開!』

中部・四国エリアから

長野県・チャレンジ学院代表松本先生

身内の話になりますが、今年は嬉しい話がありました。大学受験に於きまして東大・京大・早稲田・慶応に1名ずつ合格いたしました。高校受験でも地元の松本深志高校に全員受験者が合格いたしました。このような田舎では10年ぶりの快挙と思います。これは霧が峰の林間学校の比重が大きかったと思います。昨年は谷村理事長のご指導の下、関東・中部合同研修会ができました。又、NPOの田中理事長並びに佐藤事務局長のご指導の下、霧が峰で親子の集いことができました。合宿は春から秋にかけて23回くらい行いました。合宿では、村長、校長、副校長以下21名が担当。

本気にさせる。つまりSUCCESS講座を作る。

「目標なくして成果なし。」熱意を持って目標を作る。先生と生徒たちがまず3時間ぐらいかけて話し合います。35～6個のメニューができ、其のうちの2～3個だけを紹介させていただきます。3分間オリンピックは自分が知っている英単語を可能な限り書きます。86個が最高でした。そして全国の高校入試問題を東日本・西日本に分けて制覇する。デスマッチというゲームです。各部屋(信長・秀吉・卑弥呼・聖徳太子・吉田松陰・平賀源内等)に問題を置いて満点とったら次の部屋に行けるというもの。最後が徳川家康です。頭と体を使うゲームです。大学受験は各大学の名前で最後が東大です。

感動させる。「本当に生徒は感動すると泣くのか。」と分かりませんでした。が、昨年の成基学園さんの講演にヒントをいただきました。夜、真っ暗な部屋で親からの手紙を読むと次第に泣いている生徒の数が増え始め、最後には全員の生徒が泣いていました。本当に子供というのはかわいいですね。本当に塾をやっている良かったと思いました。

中国エリアから

広島県・学習共同体グループ代表河濱先生

私共もコーチングを取り入れさせていただき、広告にも活かしました。毎年春1月～4月に3種類のシリーズ広告を用意いたします。その私共の取り組みをご紹介させていただきたいと思えます。先ず具体的な特徴を出していかなければいけない。7、8年前から「学びと感動を伝

えよう」ということを開始。学んだことの裏打ちをさせる経験をさせる。「具体的な取り組み」として学びのスタイルとしてノート作りをする。又、感動を伝えるための読み物（詩などを題材にして）プリントを週1～3回渡して話し合う。合宿は、夏に合宿所で行っています。その他古墳作り、宮島歴史散歩、プラネタリウム見学なども毎年テーマを決めてやっています。そして25周年に際しその検証をして3つのことを伝えていく。情熱：対話プリントを継続的に行う。ハンドブックを作り塾でやっていることを保護者に伝える。詩のプリントの内容や「一生懸命は感動の種まきです」という巻頭言などを紹介している。情報：広島TVでの高校入試速報。「水泳部続けるの」と質問に、その高校には水泳部が無かったことを初めて知り、情報収集の必要性を痛感。以後高校見学をしてし、クラブの内容・大学実績・教科書、文化祭など情報収集をしている。技術を鍛えよ：塾生の成績をS-P表の分析に変えた。2学期に授業研修と分析。学習の狙いと授業のシラバス。テキスト作り。入試分析。

#### 四国・九州エリアから

##### 徳島県・楠山ゼミナール代表楠山先生

私は私塾ネット、全国学習塾協会・徳島県協同組合の3つに加盟しています。今年は塾の日の記念式典が徳島県で10月8日に行われますので是非ご参加ください。塾の先生には今日は経営的な銀行の実行金利についてお話ししたいと思います。借入金の金利と預金金利の関係から名目金利よりも実質金利が高くなるシステムについての話。

エピソード 午後2:40～5:10

##### 『感即動 感動が人を動かす』

～ 生徒が感動する授業の創り方 ～

##### (株)アビトレ代表木下晴弘氏の講演

先生としてのあり方、やり方

皆様こんにちは。先ずこのような機会を設けていただいた先生方、会場の設営等にご尽力頂いたスタッフの方々に心よりお礼申し上げます。なにより今日お集まり頂きお話を聞いていただけることができまして、本当に感謝いたしております。与えられた時間そのことを胸に刻んで邁進いたしたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

今日は、塾の経営者、現場の先生方をはじめ、私立学校の先生方もいらっしゃいます。

皆様方の様々なニーズにお応えする事は私には到底できません。ですから私の経験した事をリポートさせていただき、そういう時間と考えていただくと、ありがたいと思えます。私と皆様方とは経験もすべて違います。先生方のフィルターを通してみていただくと、助かります。簡単に

自己紹介。生活費を稼ぐため、高いバイトの塾教師を選ぶ。浜学園では生徒は小4～大学受験までを扱っていて、私はここに16年間勤務しました。生徒のすべてのクラスでアンケートがありました。教え方が上手で分かりやすいはプラス1点。ともあれこのようなアンケートで私は、だめ教師でした。ペナルティー教師でした。先輩のパーフェクト教師に土下座をして授業を見せてもらいました。ショックを受けました。私とは何もかも違っていました。その後私も報奨金をもらえる講師になっていきました。他の先生の授業を見る。自分の授業をビデオで見ることはすごく有効です。このとき保護者の方に教わったことがあります。「お金と同等に大切なものは人に感謝されること、必要とされることである。生きてきた意味がある。」しんどいこともあると思います。でも生徒さんに「先生今日も楽しみに待ってるよ」言われるとどうですか。

今日は、簡単なコツについてお話ししたいと思います。私は大学卒業後いったん銀行に就職いたしましたが、子供たちのことが忘れられず、戻ってまいりました。そして今、皆様方の授業をサポートさせていただくアビトレという会社を設立いたしました。今後とも宜しくお願いいたします。最初はやる気満々だったのが、今時の生徒にだんだんやる気が失せていく。そうならないためにどうすればいいのか。先生には、2つの技術が必要になります。

1、板書の仕方と話術。話術が得意な方が人気がある。

2、リレーションスキルが最も大事。

2-6-2の原則は、我々が作り出してしまっている。彼らが心の底からそうしたいと思っっていますか。自転車を乗りたいと思っただけならば、転んでも練習して乗れるようになる。心の底からそうしたいんやと思わせることが必要。「おい宿題をやり」では、彼らはやるきにならない。上位20%の子はそれでもやる。でもこの子らは、何も言わなくてもやる子達である。下位20%は、反発しだす。80%の子をやる気にさせるには、どうすればよいか。自ら握った鉛筆は、偏差値が10ポイントアップします。勉強も同じ。自らやらせることが大切。

3つのステップがあります。

1. 心を開かせる要素 2. 興味を持たせる要素 3. 維持させる要素

どんなに教え方が上手でも、心が開いていなければだめ。心を開かせる方法は笑顔・熱意・愛情である。

～アメリカのデパートとドイツでの馬の例～

話を目・耳・全身で聞いてもらった時に愛情を感じる。

相手に答えが無いときは、コーチングはつかえない。

面談のときは、黙って聞いて、ただひたすら質問するだけ。(質問力が重要)

「なんでそうするの、それでいいと思ってるの」と断定疑問形はだめ。

できた時は、しっかりとほめてあげる。9ほめて、1課題を与える

・Y O Uメッセージではなく、Iメッセージで(先生は嬉しいよ)

君がやってこないと先生は、悲しいよ。

(奥さんに)お前がやってくれることに、感謝してるよ。

・ディスカントメッセージの例：筑波市の高校1年生が交通事故で意識不明の重体に。家族が毎日生活を共にする中で、元気になれよとささやき続け、1ヶ月後に左手がピクツと動き2ヵ月後に意識がもどった。左半身が動き2年後復学。しかし夏休みに教師から右脳が「大部分挫傷してはついてくるのが大変だから、そういう学校に転校したほうがいいよ」と言われた。すると左半身が動かなくなってしまった。

なんや、お前漢字ができへんなは良くない。過保護・過干渉も同様。

・ストロークメッセージの例：耳の障害の小学生の子に母親は「お前の耳がへんちくりんだけど、世界一好きよ」と言い、担任は「からかわれてもめげないに貴方に感心しているのよ」と言った。

### 感動が人を動かす

頭で理解する感動と心で感じて涙する感動!

ピート=グレイさんのお話(大リーグの試合でホームランを見て感動し、大リーガーになる夢を見る)しかし、6歳のとき列車事故で片腕をなくし、夢をあきらめたとき、「あきらめるな」の父親のひとつこと。以後、練習に練習を重ね、30年後についに大リーガーになった。

パラダイムシフトを起こす。その人を支配している考え方、固定観念を変えること。そこに感動が生まれる。授業は、笑顔と元気が大切。

「クッキーのお話」：空港で待ち時間にクッキーを食べようとしてイスに座ると隣の一人が手を伸ばして食べてきて、いやな思いをした。ところが後で自分のは封も切らずにあり、クッキーはその人のものであることが分かった、その人への見方が一変した。

心と頭を揺さぶる。K学園の先生より手紙：退塾ゼロに。その理由は月に1回生徒と一緒に見るイチロウ選手と安藤美姫選手、先輩たちの映像。

最後に殉職した消防士のお話のビデオを見ながら終了。生徒たちも一生懸命時間を過ごす気になった。

エピローグ 午後5:10~5:20

### 第一部閉会式

私塾ネットセンターの湯口兼司副理事長より第一部を振り返って「感動してずっと聞きいって、涙もうるうるした木下先生のすばらしい講演へのお礼、そして3名のエリア代表の先生方がそれぞれに実践されているお話、経営の話などへの感謝のことば」があり、最後に山口恭弘会長より「こういう会に出ることで、若返る。又保護者を大切にしてほしいとの」ご挨拶があり、閉会となりました。

最後に木下先生のアビトレセミナーのご案内をして、終了。

### 『私塾・私学・教育企業懇親会』

午後6時~7時45分



ご出席の私学の先生方

谷村理事長より挨拶の後、各エリア代表から挨拶。私学代表は、京北学園の河合校長先生。社団からは石井会長の塾の安全をお願いしますとの挨拶がありました。北川先生の乾杯でしばし歓談。参加者の多くが懇親会にも出席し、感動的だった研修会の話をしながら日本全国から集った先生方は、久しぶりの再会に話も弾んだ。また私学・私塾の先生方の交流の貴重な時間としてすごされ、賑やかな懇親会で盛会のうちに終了いたしました。(報告 広報部 監物一男)



# 全国塾長・職員研修大会

品川区立総合区民会館「きゅりあん」

全日本私塾教育ネットワーク「全国塾長・職員研修大会」  
感即動 感動が人を動かす

2006年4月23日



開会式風景・会場の品川区総合区民会館「きゅりあん」は160名をこえる出席者で埋った。理事長谷村(右)の開会挨拶に続いて、協力団体の東京私塾協同組合岡田理事長(左)が挨拶に立たれた。

## 私塾ネット

### 元気塾ノウハウ公開！

各地の私塾ネット会員を代表し中部・中国・四国エリアの会員塾から元気塾のノウハウが公開された。

## 四国エリア・楠山ゼミナール 楠山先生

楠山先生は、社団法人全国学習塾協会副会長として、2006年10月開催の塾の日記念式典 in Tokushima の実行委員長を務められる。私塾ネットは当大会を全面支援する。



中国エリア・学習共同体グループ 河濱先生



中部エリア・チャレンジ学院 松本先生  
8



安藤  
左か





木下晴弘氏(アビトレ代表)  
(講演テーマ)  
『感即動 感動が人を動かす』  
練り練った演出と圧倒的な話術で聴衆の心をわしづかみ。感動映像では思わず涙ぐむ人も多数。『職員を連れてくればよかった』とのベテラン塾長の声も聞かれた。木下先生のセミナーは、この日の講演をプレセミナーとして、5月以降東京と千葉で継続して開催されており、多くの会員が受講している。



熱心に木下先生の講演に聞き入る塾職員 見事な講演に160名の聴衆の目は一点に



研修大会の総評と謝辞を述べられる山口会長



懇親会時の私学の先生方の紹介  
私学の存在が私塾ネットを支えている



進理顧問が力強い言葉で懇親会を締める  
2番目は来賓の全国学習塾協会・石井会長



無事一日を終えて慰労会。木下講師を交えて研修会の第2部となった。右写真は長江先生と名古屋からの帰路に合流した松浦先生。(いずれも関東会員)松浦さんは千葉学習塾協同組合の理事長でもある。酒の席は妙に息が合うふたり。

**私塾ネット 全国研修会アンケート 集計結果**

オ) 不満 - 名

Q 所属はどちらですか？

ア) 私立学校	6名
イ) 塾関連企業	12名
ウ) 私塾ネット	30名
エ) 東京私塾協同組合	4名
オ) 会員以外の塾	18名
カ) その他	12名
合計	82名

Q各講演はいかがでしたか？ 感即動 木下先生・頭と心でよくわかりました・いきなり多くをこなす事は出来ませんが、今自分に出来ること、今後出来るようにしたいことを一つ一つ努力していきま。これからの授業で考えさせられる話が聞けて大変為になりました・常に生徒の為を思って日々業務をしていきたい・生徒への声の掛けかた、仕事への考え方について改めて考えることができた・最近感動する事させる事を忘れかけていました・笑顔元気をふりまける講師でありたいと思う・言葉で表せない位感動しました・私自身がパラダイムシフトを受けた感じです・明日また教室に行く多大なエネルギーを頂きました・感動させる授業の大切さを学んだ・素晴らしい方の素晴らしいお話しにであえて本当に勉強になりました感動しました・とても素晴らしく目からウロコでしたセミナーにも是非参加したい・あらゆる視点からの発想に多くの事を学べた・理由をしっかりと考える事が大切だと思った・明日からの生きる力になった。これから前向きに仕事ができるだろう・来たかいがあった。次も絶対来たい・予め知っていた事を一本筋を通して話して頂け整理する事ができました・大変よかった。自分を見つめ直す良い機会になった・一人ひとり、塾も一つ一つ異なる点もあり出来ない事もあるので？もいくつかありました・先生の経歴が知りたかった・見事！・講演のみではなく、視覚で訴えてくる場面もあり大変刺激になった・目からウロコ！！もっと聞きたい・校舎に戻って早速実行しようと思う・本当に楽しく聞く事ができ感動いたしました・映像の音の重要性を身体で知る事ができた・最高でした！もっと話を聞きたいです・大変密度の濃い内容でおおい参考になった・感動しました。パラダイムシフトを作り出せるよう頑張りたいと思います・続きを聞いて見たいと思いました・今日化粧直しのできるファンデーションを忘れて大失敗でした・言葉にならない程の感動を頂きました

Q本日の研修会はいかがでしたか？

参加者総合計

ア) とても満足	59名	イ) 満足	21名
ウ) ふつう	2名	エ) やや不満	-名

Qよかった点はどこですか？

・木下先生の講演(31名同意見)・私自身が感動したこと・話を伺い私自身が大変心を動かされた。この感動をこれからは私が生徒に味あわせることができるよう一生懸命取り組みたいと思います・今一度生徒に対する姿勢、管理職として教師に向かう姿勢を考える事ができました・今自分に欠けている部分が見て取れた・各塾の運営の工夫点・自分には無い物があり新鮮な話が聞けた事・教育のあり方、視点の換え方から素晴らしい発見を多く得ました・実際の体験談から得られた情報は大きい！・他の塾の成功例を聞いた・人との接し方の基本的なことが良かった・時間厳守であったこと・パネラーのみなさんが自分のカラーを打ち出してくれた事が楽しかった・授業の構成に取り入れたいと思った・パラダイムシフトは試みたいと思った・沢山の先生が参加された事・自分の生徒との接し方で思い当たることがあり大変参考になった・木下先生の講演はとにかく良かった。感即動です・今まで気付かなかった事分かっていたようで気付いていなかった事沢山の気付きと感動をもらった・木下先生のセミナーは自分の悪い所を指摘されているようで反省しています(2名同意見)木下先生のお話は驚かされる事だけでした・スライドショー / 感動は感動を呼びます・チャレンジ学院と木下先生の話・塾のチラシ・塾の紹介・自分が全く無意識で行っていた事に気付く講師への指導に良いヒントを沢山得られた・会場・自分の感動できた事・木下先生の講演で内容・演出・構成全てに感動した・メッセージ・具体例がたくさんあり説得力がありました・ピートグレイに関するパワーポイント・今日来た職員全員がやる気になった点・明日からの授業に活かしたいといっている点・この企画自体が良かった

Qご意見、ご質問ありましたらご記入ください。

・感動と洗脳。共に人を動かす力であり言葉の力だと思います。だとするとその違いは何処にあるのでしょうか・・・？教育者としていまだ答えの出せないテーマです・生徒との接し方について反省しました・今後の励みになりました・感動を沢山頂きました・木下先生の著書などはないのですか？・運営下さった方々に感謝致します(2名同意見)・良いお話して何度でも聞きたい・有意義な時間を過ごせました・大変良かったです。ありがとうございます・今日は来て良かったです。塾の仕事をしてきて良かったと心から感じる事ができました・塾業界の中にこんなに素晴らしい方がいることとても嬉しく思います。今後も色々な勉強会に参加していき、自分を高めていこうと思います。そして良い塾を創っていきたくです・ありがとうございました。

# 四国研修大会

平成18年5月14日(日) 於 香川県 湯口塾

湯口塾研修センター 参加者 55名

## 〔1〕私塾ネット四国支部総会 11:00~11:30

湯口先生の開会の挨拶から始まり、平成17年度決算報告・平成18年度予算案を全会一致で承認。さらに、2006年10月8日全国学習塾協会主催『塾の日in徳島』に協賛し研修会を実施すること、さらにその研修会の参加費を1塾につき8000円補助することを承認。その後、各塾長からの近況報告。今年も頑張るぞお～！

11:30~12:30...昼食ならびに歓談

湯口塾のスタッフの皆さんにセットしていただいたミニセルフ讃岐うどん店(無料)で超有名うどん店のうどん、天ぷらを食す。とにかく美味い!!思わず2杯、3杯と...止まりませんでした。これだけでも研修会に参加した甲斐があるってもんです。

## 〔2〕研修会 塾人の原点、感動の授業を目指して 第一部 13:00~13:40... (全体研修)



授業にはいるために必要なもの。それは、『笑』生徒を認め、生徒に認められる糸口になるもの。それは、「君が出来たら、私も嬉しい。」という心と言葉。深いものがある。2-6-2の原則とは、6割の「理解できたり、理解できなかつたりする塾」を理解させるように持っていくことこそ塾講師の役割であることを実感する。

第二部 14:00~16:00

第1分科会：中学数学 川口順次(学の森育心館)  
板書の書き方、書かせ方に始まり、塾生のノートを



見ることで自分の授業内容が分かる。ノートは問題集ごとに持たせ、解説のノートは丁寧に書かせよ。分かっている部分は褒めよ

## 第2分科会：小学算数 永岡一彦(啓真館)



小学生の算数とは、数の概念を学び、思考力を身につけさせることに主眼を置くべきであって、安易に中学・高校の解き方を持ち込んではいけない。

## 第3分科会：中学・高校英語 湯口兼司(湯口塾)

英語の授業の進め方。授業の中で何が大切かのポイントを押さえるようにしなければならない。例文は



出来るだけ簡単なものにすべきである。

**第4分科会：衛星授業のノウハウ 寺嶋謙次（東進衛星予備校普通寺校）**

その生徒にとって何の教科が必要であるのかという情報は、生徒の側ではなく教える側が提供すべきである。ひいては適切な進路指導にもつながる。



**校舎見学 16：30～17：30（湯口塾ティーチングラボ，東進衛星予備校普通寺校）**

湯口塾ティーチングラボは教材屋さんで見ちがう程のオリジナル教材の山。東進衛星予備校普通寺校はピシッと整理整頓された美しい教室でした。



**研修会のまとめ 17:30～18:00**

それぞれの胸に刻まれた思いは言葉ではなく、目の奥に潜んでおりました。長時間の研修にもかかわらず参加者皆さんの目がと生気を溢れさせ、キラリと光っていました。あれ～っ？  
まとめの挨拶担当の湯口先生が消えた…。なんと東京の先生方をホテルまで案内。ご苦労様。

**〔3〕懇親会 18：00～20：00**

全体研修会場と同じ部屋で海の幸の恵みを頂きました。「鯛そうめん」いや～絶品でした。あれっ?!  
また湯口先生がいなくなった！今度は、特進クラスの授業をしに行かれたとのこと。何とも忙しい人だ。食事制限が…なんて言っていた人もすっかり食

べていましたね。身体は大事にしましょう。

20：00～25:50 ゆぐら庵（仮称）にて、恒例「夜の分科会」が始まる。その内容はすべてまる秘だそうです。ただし、飲酒された方は代行運転によって帰られました。

梅雨の走りの雨も開けた日曜。久しぶりに一堂に会する塾長達の笑顔は、旧友に会った安堵の笑顔。いつも気にかけているわけではないけれど、会えば、思い出すこと、また、伝えたいことがたくさん胸に詰まっているものです。歓談をし、近況を語り合う中で胸の奥から新たな闘志が湧く音が聞こえます。

わざわざ、関東から参加していただいた、副理事長石川先生、事務局長の仲野先生、監物先生、渡邊先生、本当にお疲れ様でした。いつもながら頭が下がります。また、広島からも佐藤先生、城先生、職員の皆さんもご参加いただきとても嬉しく思いました。

最後になりましたが、総会・研修会を成功させようと、綿密な準備と本当に気持ちよい対応をしてい



**大勢の参加者で会場を埋め尽くし大盛況の四国研修大会でした。**

ただいた湯口塾のスタッフの皆さんのご苦労は痛み入ります。本当にありがとうございました。

加えて、かの有名うどん店の麺を取り寄せることの出来る湯口塾の裏の力も垣間見ることが出来たことを付記しておきます。

報告 私塾ネット四国 川口順次、福富耕二



# 各 部 報 告

## 渉外部

### 再任 渉外部長

佐藤勇治

平成13年(2001)6月3日(日)に「全日本私塾教育ネットワーク」(略称:私塾ネット)が誕生してから、5年が経過しました。

平成18年度の私塾ネット渉外部長に再任されたのを機会に、私のこれまでの活動と渉外部長としての抱負を述べさせていただきます。

#### 1、私塾ネットの事務局長から渉外部長に

平成13年6月、「全国私塾連盟」、「全日本私塾協会」、「日本私塾会」の3団体は、それぞれの団体を解散し、新生「私塾ネット」を設立致しました。

その当時の3団体の理事長と事務局長は、「山口恭弘氏・佐藤勇治氏」、「平林 治氏・谷村志厚氏」、「梶原賢治氏・仲野十和田氏」でした。

そして私塾ネット第1期1年目は暫定的に、山口恭弘理事長・佐藤勇治事務局長のコンビでスタートしました。

平成14年(2002)6月2日(日)、私塾ネット設立1周年記念を機会に事務局長は若くて有能な仲野十和田氏にバトンを引き継ぎ、私は渉外部長に任命されました。また、平成16年(2004)4月25日(日)の代表者会議において、山口恭弘理事長は会長に、新理事長に行動力抜群の谷村志厚氏が就任し、谷村・仲野コンビの誕生となりました。

一方、梶原賢治氏は副理事長、平林 治氏は広報編集長として、現在も「私塾ネット」の重責を担っておられます。

#### 2、再任渉外部長として

平成14年(2002)私塾ネット渉外部長に任命された時、私は、全日本学習塾連絡会議〔全国の学習塾の連絡機関=平成11年6月16日設立〕と、任意団体連絡会〔首都圏の主要5団体-全国私塾連盟・全日本私塾協会・日本私塾会・NPO 塾全協・私塾協議会-が平成4年に結成〕の事務局長を兼任しておりました。

本来、団体の渉外部長は、他団体との情報交換が主な仕事であり、その意味で、全日本学習塾連絡会議の事務局長と私塾ネット渉外部長の仕事は車の両輪のような関係にあり、最高の活動の場を与えられたと感謝しております。

#### 3、NPO法人 全国教育ボランティアの会でハンドブックを発行

全国教育ボランティアの会は平成12年(2000)5月18日に経済企画庁(現在の内閣府)より認証され、設立当初より、「田中敏勝 理事長・佐藤勇治 事務局長」のコンビでやっております。当会では、毎年の活動記録を「ハンドブック」として発行しており、今年は4冊目となる「自然・社会体験学習支援セミ

ナーハンドブック」(A4・126頁)を3月15日に発行致しました。本書も私が編集、印刷、配布を担当しており、既に、会員はもとより文部科学省はじめ各地域の教育委員会、市民活動団体にも送付致しました。なお、全国教育ボランティアの会は私塾ネットの協力団体となっており、両方の会員となられる方も多数おられます。

#### 4、平成18年度の各団体の活動と行事予定について

全国65団体のうち、30団体の行事予定を教育ネット要覧の9頁から18頁までに一覧表で掲載致しました。私塾ネットは10頁に、全国教育ボランティアの会は21頁に収録してありますので、早見表としてご利用下さい。

以上、私の活動の概要を簡単にまとめましたが、今年もこれまでと同じように、私塾ネット渉外部長、全日本学習塾連絡会議事務局長、NPO法人 全国教育ボランティアの会事務局長として地道な活動をし、塾業界全体の活動を冊子に残し、『私塾の歴史 100年史、塾団体の歴史 50年史』の発刊の夢に繋がたいと思っておりますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、これまでの渉外部報告は、次長の加藤 実先生にお願いしておりましたが、加藤先生が教務部長になられましたので、今回から私が報告させていただきます。加藤先生長い間、ありがとうございました。

## 会計部

### 再任会計部部長 石川 維雪

18年度センター会費ご協力をお願い

本年も会費の徴収を行っております。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

各エリアごとに、センターの会費を集めさせていただきます。

詳細は、エリア代表ないしはエリア会計担当者にお問い合わせください。

\*エリア代表者

エリア東北 畑山篤(志学塾)

エリア関東 鈴木正之(いぶき学院)

エリア中国 北川健治(栄光プレップ)

エリア四国 湯口兼司(湯口塾)

エリア北海道、エリア東北(青森以外)、エリア中部、エリア近畿、エリア九州

センター会計部より直接会費を集めさせていただきます。

詳細やご不明な点は、センター会計部 石川維雪(03-3483-8221:さくら記帳代行センター内)までお問い合わせください。

【郵便振替でご送金の場合】 以下の郵便口座まで

ご送金ください。

(口座番号) 0230-6-0068820

(口座名義) 全日本私塾教育ネットワーク

【銀行振込でご送金の場合】

みずほ銀行 祖師谷(そしがや)支店 普通預金  
8079372 (口座名義) 私塾ネット 会計部長  
石川如雪

## 広報部

### 新任 広報部部長

### 監物 一男

私は、今年度鈴木正之広報部長の後を受け、広報を担当させていただくこととなりました。関東代表の鈴木先生のようにご満足のいく広報誌ができるか分かりませんが、平林治先生のご指導の下、がんばってまいります。

私塾ネットが誕生して5年。広報誌も15号を迎えました。私塾ネットは、各エリアからなる任意団体ですが、地域での研修会の他、相互交流を行い、毎年全国研修大会も開催しています。又、他団体と連携しての共同開催の行事などもあります。そのような活動の一部やトピックなどを掲載しながら、全国の会員の皆様に情報をお伝えできればと思っております。

今回も四国の総会や全国研修大会の研修内容や懇親会の様子などを掲載しております。

長時間にわたる研修会ですが、参加された会員の皆様の元気な姿を拝見できる楽しみもございます。

今後は、個人の先生の投稿やより多くのエリアの活動をお知らせできればと思います。

どうぞ今後ともお忙しい先生方ですが、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

### 新任 広報部次長

### 宝田一明

この度、広報部次長を就任いたしました宝田であります。「昭和53年4月、東京都板橋区」の地に開塾し、今年で29年目を迎えました。

地元に着し「小・中学生」を対象とした「進学・補習塾」であります。開塾以来、「厳しさの中に優しさを」という塾風を掲げ、「元気・やる気・根気」の三気を柱として生徒の指導にあたっております。

広報担当につきましては、広報部長でいらっしやいます監物先生のもとにて少しでもお力になれますよう、微力ではありますが精進していきたく思っております。

また、何分にも初めての経験でありますので、会員の諸先生方へのご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

## 教務部

### 新任 教務部長

### 加藤 実

平成18年度の私塾ネットの活動が始まった。私は教務担当ということで、各教科の勉強会を中心に活動していきたいと思う。

### 5月29日(月)北とびあ8階801

10時～10時50分「小学算数」 担当大河原先生

11時～11時50分「口語文法」 担当渡辺先生

大河原先生の「小学算数」は「序数」と「基数」、「整数」と「小数」について、大河原先生の考え方を中心に進行。ちょっと50分では時間が短すぎたようで、途中で終わってしまった感じがある。「具体的な算数の文章題のわかりやすい解き方を聞きたかった」との声と共に、今後の課題かと思う。

渡辺先生の「口語文法」は「ノートの書き方」から入り、「言葉の単位」へと進む。「長さによって五つの単位がある」ということで、「文章段落 文 文節 単語」についての「定義」の説明のあと、「文節の区切り方」についての指導があった。じっくりゆっくりとかなり丁寧な説明で、国語が専門でない先生方でも充分理解できたのではないかと思う。出席者は講師の大河原先生、渡辺先生の他、ほとんど常連で吉田弘子先生、安藤孝江先生、鈴木正之先生、川久保博史先生、桂馬辰尚先生、監物一男先生、宝田一明先生、三井雄介先生、島崎英明先生、野口美佳先生、山本かつい先生、そして私加藤の14名。

### 6月19日(月)「ハイライフいたばし」

今回は大河原先生のご都合が悪く、渡辺先生の「国文法」の授業2コマのみ実施。前回の復習から入り、「文の成分」の説明に入る。「主語の見つけ方」「述語の見つけ方」「接続語」「独立語」「修飾語」と例によってかなり丁寧な授業展開であったかと思う。「修飾語」が「その他」ということで、一番最後に指導するという授業方法はとてもおもしろいと感じた。ただ、「模擬授業」の部分と、先生方に対する補足説明とが一体となってしまうと、どこからどこまで指導したらいいのか、とまどった先生もいらしたのではないかと今後の課題であると思う。参加者は渡辺塾から渡辺先生・三井先生・島崎先生・野口先生・唐木先生、いぶき学院の山本先生・鈴木先生、ステップ塾吉田先生、ナカジユク樋口先生、調布学園佐藤先生、桜学習会安藤孝江先生、私加藤の12名。

我々塾の第一の使命はしっかりした指導を行うことである。そのための勉強会は必要であると考え。これからももしっかり勉強していきたい。

平成18年6月26日午前2時1分

## 私塾ネットセンター 事務局通信

### 事務局長 仲野十和田

理事長の指名により、会則に基づき1期(2年)延期で事務局長をやらせていただくことになりました。よろしくお願いいたします。

さて数年前から少子化が本格化すると言われの中、多くの大手塾は業績を上げているようです。以前は「地域密着型」「一人ひとりのケア」などが個人塾の売りでもありましたが、逆に大手の塾でもそれがあたり前のように行なわれているところもあります。また、大手の優れたところに室長の面談力(入会面談トークなど)があると思います。教務力

は勿論のことですが、自塾の良いところをきちんと相手に伝える能力(プレゼン力)を養い、自信を持って伝えられるだけの内容(特色)を作りだし認識することが大切なのではないでしょうか。そして、生徒にとって居心地の良い場になれば、まだまだやっていけると思います。私塾ネットは、素晴らしい塾が集まった「居心地の良い会」です。残された任期で、そのことを会員の方や外部の方に伝えていくことに力を注ぎたいと思っていますので、宜しくお願いいたします。

### 全国学習塾協同組合(AJC)が『パロス個別指導システム』を立ち上げる！ モデル塾はすべて私塾ネット会員塾 各地で説明会を実施(品川・船橋・大宮・横浜・町田)

全国学習塾協同組合(森貞孝理事長)が今春「パロス個別指導システム」をスタートさせた。7月現在3塾がモデル塾として「パロス個別指導システム」を導入している。モデル塾3塾は、私塾ネット関東代表鈴木先生のいぶき学院(東京都品川区:大井町校)、しのめ研成義塾(千葉県市原市:ちはら台校)、開智セミナー(東京都杉並区:南阿佐ヶ谷校)で、いずれも私塾ネットの会員(開智セミナーは7月入会)塾である。全国学習塾協同組合では全国の中小塾に参加を呼びかけ、各地で説明会を行い会員を募っている。

改善、子どもの成績向上が見込まれる。パロスは塾生の指導だけではなく、親の指導もする個別指導塾であるとアピールしていきたいという。このような、単独塾では真似のできないシステムを導入していくことで差別化を図ろうとしている。

「パロス個別指導システム」はフランチャイズではない。したがって契約金やロイヤリティなどはなく、現在は毎月1万円程度の会費で運営されている。参加の条件は全国学習塾組合の会員であることであり、現に学習塾を生業としている者である。現在未加盟塾も組合加入手続きを完了すれば参加資格をえられる。力のある中小塾の塾長が結集し、本物の教育を子どもたちに提供する。それを同一名称、同一のシステム(を共有すること)で実現しようとしている。それが「パロス個別指導システム」である。ちなみに「パロス」とはラテン語で「灯台」の意味で、生徒の明るい未来を導くことをイメージして命名された。



6月19日の品川での説明会の風景

「パロス個別指導システム」の特徴はそのノウハウを会員塾が持ち寄り創っていくことにある。塾生募集は主に新聞折込で行い、会員塾が同一名称で募集活動をする。中小塾でも同じ折込を使用することで手間をかけずに継続的にできることが強みである。また、格安の留学制度の導入が実現。さらに、グループダイナミクス研究所との提携が決定し「STEP勇気づけセミナー」を親向けに実施できる。「STEP勇気づけセミナー」とは親と子、人と人とのコミュニケーションのツールで親子関係の



パロスシステムを説明するAJC森理事長

フルカラー24ページの募集用ガイドブックも準備されている



私塾ネット会員で「パロス個別指導システム」に関心をおもちの方は、私塾ネット会員塾でモデル塾の3塾又は、全国学習塾協同組合(AJC・03-5996-6565)までお問合せください。

## 賛助会員一覧(順不同)

**関東国際高等学校** 03-3376-2244  
 〒151-0071 東京都渋谷区本町3-2-2  
 村山 ヲドラー先生  
**江戸川学園取手中学高等学校** 0297-74-8771  
 〒302-0025 茨城県取手市西1-37-1  
 竹澤 賢司先生  
**十文字中学高等学校** 03-3918-0511  
 〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-10-33  
 卯木 幸男先生  
**東洋高等学校** 03-3291-3824  
 〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-16  
 齋藤 元治先生  
**桜丘中学高等学校** 03-3910-6161  
 〒114-8554 東京都北区滝野川1-51-12  
 品田 健先生  
**聖徳大学附属中高等学校** 047-392-8111  
 〒270-2223 千葉県松戸市秋山600  
 川並 芳純先生  
**麹町学園女子中高等学校** 03-3263-3014  
 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-8  
 伊藤 暁先生  
**春日部共栄中学** 048-737-7611  
 〒334-0037 埼玉県春日部市上大増新田213  
 宇野 禎弘先生  
**大成高等学校** 0422-43-3196  
 〒181-0012 東京都三鷹市上連雀6-7-5  
 森 保先生  
**東京学園高等学校** 03-3711-6641  
 〒153-0064 東京都目黒区下目黒6-12-25  
 須藤 勉先生  
**東京立正中学高等学校** 03-3312-1111  
 〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内2-41-15  
 藤井 教戒先生  
**八雲学園中学高等学校** 03-3717-1196  
 〒152-0023 東京都目黒区八雲 2-14-1  
 横山 孝治先生  
**関東第一高等学校** 03-3653-1541  
 〒132-0031 東京都江戸川区松島2-10-11  
 副田 康孝先生  
**武蔵野中学高等学校** 03-3910-0151  
 〒114-0024 東京都北区西ヶ原4-56-20  
 福澤 清一郎先生  
**神田女学園中高等学校** 03-3291-2447  
 〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-3-6  
 後藤 久夫先生  
**和洋国府台女子中学高等学校** 047-371-1120  
 〒272-0834 千葉県市川市国分4-20-1  
 太田 陽太郎先生  
**東京文化中学高等学校** 03-3381-0196  
 〒164-8638 東京都中野区本町6-38-1  
 上前 善勝先生

**英数学館中学高等学校** 084-941-4115  
 〒721-8502 広島県福山市引野町980-1  
 和田 淳先生  
**文京学院大学女子中学高等学校** 03-3946-5301  
 〒113-8667 東京都文京区本駒込6-18-3  
 水上 茂先生  
**京北学園中学高等学校** 03-3941-6253  
 〒112-8607 東京都文京区白山5-28-25  
 実方 隆志先生  
**大森学園高等学校** 03-3762-7336  
 〒143-0015 東京都大田区大森3-2-12  
 河嶋 正先生  
**東京成徳大学中学高等学校** 03-3911-2786  
 〒114-8526 東京都北区豊島8-26-9  
 増澤 文徳先生  
**日本工業大学附属中学** 03-3467-2130  
**日本工業大学附属東京工業高等学校**  
 〒153-8508 東京都目黒区駒場1-35-32  
 川村 文夫先生  
**青稜中学高等学校** 03-3782-1502  
 〒142-8550 東京都品川区二葉1-6-6  
 多々良 昭典先生  
**東京女子学園** 03-3451-6523  
 〒108-0014 東京都港区芝4-1-30  
 辰巳 順子先生  
**安田学園中学高等学校** 03-3624-2666  
 〒130-8615 東京都墨田区横綱2-2-25  
 福谷 隆芳先生  
**多摩大学目黒中学高等学校** 03-3714-2661  
 〒153-0064 東京都目黒区下目黒4-10-24  
 福本 明男先生  
**駒込中学高等学校** 03-3828-4141  
 〒113-0022 東京都文京区千駄木5-6-25  
 河合 孝允先生  
**愛国中学高等学校** 03-3658-4111  
 〒133-8585 東京都江戸川区西小岩5-7-1  
 高橋 英夫先生  
**日本橋女学館中学高等学校** 03-3662-2507  
 〒103-8384 東京都中央区日本橋馬喰町2-7-6  
 羽田野 敦先生  
**LEC東京リーガルマインド大学** 03-5913-6903  
 〒164-0001 東京都中野区中野4-11-10  
 大久保 忠志先生  
**株式会社パイロットコーポレーション** 03-3538-3782  
 〒104-8304 東京都中央区京橋2-6-21  
 辻 豊様  
**株式会社教育企画ティーファイブ** 03-5479-7061  
 〒140-0001 品川区北品川1-22-17 ニックハイム104号  
 山田 孝幸様  
**株式会社創開コミュニティー** 04-7164-6511  
 〒277-0005 千葉県柏市柏3-4-25 小溝ビル  
 小林 和光様  
**㈱アズサコーポレーション** 03-3477-2011  
 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町29-31  
 石野 ゆかり様